



# 暮らしの情報ページ

## 「狭山にこんな街がほしい」

### みんなで考えよう、21世紀の街づくりシンポジウムを開催

市では、狭山市駅西口周辺地区の整備について、平成6年度から権利者のかたがたとの話し合いを基本に、計画づくりに取り組んでいます。これまで、駅前整備を進めるために必要となる都市計画道路狭山市駅野線の用地取得や入間川小学校の移転計画を推進してきました。また、街づくりの基本方針の中に「住民、市民、行政の三者が、みんなで考え、みんなでつくり、みんなで支える市民共同の中核拠点づくり」を掲げており、その理念を具現化し、21世紀にふさわしい街を創造するにあたり、「住民と市が一緒になって、安全で暮らしやすい街にするには、どうしたらよいか。街をどのようにすれば、市民が利用しやすいくなるのか」を考へる機会として開催したものです。

このシンポジウムは、3月30日、狭山市駅西口周辺を安全で暮らしやすい街にしようと、21世紀の狭山らしさを創造する街づくりをテーマに、都市基盤整備公団の後援で開催したものです。会場になった市民会館には、およそ200名のかたが参加し、話題提供者からの意見に熱心に耳を傾けました。

見や市民のみなさんの声をできるだけ反映させ、市民と手作りの街づくりをしていきたい。」とあいさつがありました。

たに生み出せることがポイント。街を活性化するキーワードは、パートナーシップ。異なる立場の主体が協働できることが大切。

#### 街づくりによせて

話し合いの会では、話題提供者がら次のような意見が述べられました。経済性などを含め、都市全体の新しい拠点となること、周辺地域との間に波及効果もたらされること、歴史・文化など近隣と違う価値を新

街づくりにいかにかかわっているか、踏み込んでいけるかのプロセスが重要。「市民力」が試される。今までの歴史を記録し、後世にきちんと伝えていくことも大切。女性の意見が反映できる街に街は履歴を持つている。古くからあるものや景観をどう残していくか

このシンポジウムで発表されたた皆さんの貴重な意見は、今後の街づくりに生かされます。

#### 参加者と意見を交流

また、スライドを使い、これまでの経緯と開発目標、事業の進め方を説明しました。その後、会場から街づくりへの子どもたちの参加、市民がどのように参加すべきか、真のバリアフリーについて、などの質問や意見が寄せられ、話題提供者がそれぞれの意見を述べました。



「狭山らしい市民が誇れる街づくり」に活発な意見が出されました

#### 話題提供者



さとう しげる 氏  
早稲田大学教授



いずみ としんいち 氏  
人間川地区まちづくり懇談会会長・建築家



けづか ひろし 氏  
(財)狭山ささえあい福祉公社常務理事



さいとう えいこ 氏  
狭山市女性計画推進市民会議議長



むらお しげみ 氏  
狭山市駅西口再開発協議会会長



くぼた よういち 氏  
窪田陽一氏  
埼玉大学教授

#### 進行役



いただ めつひで 氏  
慶応義塾大学大学院講師・都市計画家

#### 問い合わせ

狭山市駅西口開発事務所へ ☎ 955-0023

暮らしの情報ページは主に市からのお知らせを掲載します。申し込み・問い合わせは➡の記号で表します。  
 市役所の住所は〒350 - 1380 狭山市入間川 1 - 23 - 5、電話番号は☎042 - 953 - 1111です。

**調査結果**

**大気調査**

(単位:pg - TEQ/m<sup>3</sup>)

調査地点	夏季	冬季	年平均値	環境基準
上久保公園	0.39	0.11	0.25	0.6pg - TEQ/m <sup>3</sup> 以下(年平均値)
下河内中公園付近	0.33	0.10	0.22	
新狭山公園	0.25	0.099	0.17	
農村環境改善センター	0.28	0.081	0.18	
三市一町行政境付近	0.27	0.26	0.27	
フラワーヒル東公園	0.21	0.12	0.17	
入曽幼稚園	0.30	0.091	0.20	
狭山市役所	0.30	0.079	0.19	

**土壌調査**

(単位:pg - TEQ/g)

調査地点	調査結果	環境基準
下河内中公園付近	19	1000pg - TEQ/g 以下
農村環境改善センター	31	
フラワーヒル東公園	5.2	
入曽幼稚園	4.6	

問い合わせダイオキシン対策チームへ内線3651

**ダイオキシン類濃度調査結果**

平成11年8月と12年2月に実施した、市内大気中のダイオキシン類濃度調査結果と、12年1月に実施した、土壌調査結果についてお知らせします。

**調査日時**

大気調査 夏季…平成11年8月3・4日 冬季…平成12年2月1・2日 土壌調査平成12年1月31日

**調査報告**

大気中におけるダイオキシン類

濃度は、年平均値で0.17～0.27 pg・TEQ/m<sup>3</sup>となり、全地点で大気環境基準を大幅に下回りました。土壌におけるダイオキシン類濃度も、4.6～31 pg・TEQ/gとなり、全地点とも土壌環境基準を大幅に下回りました。

今後、濃度の低減に向けて排出抑制対策を推進していきますので皆さんのご協力をお願いします。

皆さんの身近なところで、台風や大雨により川が氾濫し、浸水被害が起っています。

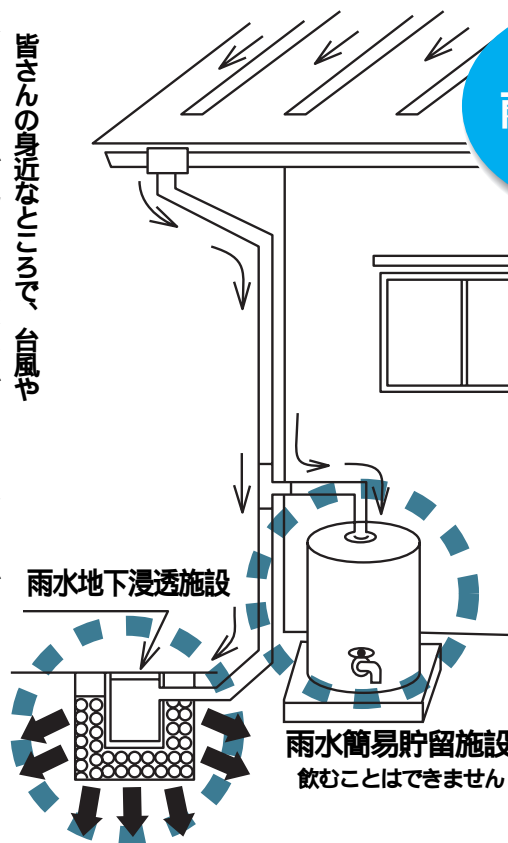
市では、雨水の流出抑制および雨水の有効利用の促進を目的として、屋根に降った雨を集水し、雨水を地下へ浸透させる樹、または雨水を一時貯留する施設を設置するかたに補助金を交付します。

一時貯留した雨水は水道水の代わりとして庭木への散水、ガーデンニング、掃除用あるいは災害時の非常水とするなど、日常において有効に活用することができます。

また、雨水を地下浸透させ土に返すことにより、河川が一気に増水する都市型被害を抑えるばかりでなく、地下水の涵養となり、健全な水

始めよう  
雨水利用と  
地下浸透

5月1日から、  
雨水各戸貯留・浸透施設  
設置費補助制度を開始



循環につながります。

対象市内に住所があり、市内で自己の居住用の住宅に設置するかたの補助対象 雨水簡易貯留施設：貯留量100ℓ以上の気密性容器(市販の雨水簡易貯留施設・ドラム缶などを利用したもの) 雨水地下浸透施設：内径30cm以上の既製品の浸透樹補助金額工事による費用の2分の1以内の金額 限度額は、一世帯当たりで雨水簡易貯留施設が3万円、雨水地下浸透施設が4万円

問い合わせ雨水対策課へ内線 2151・2152